

質問に対する回答について

工事名) 東北自動車道 白石中央スマートIC工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	設計関係図書 設計図(函渠工)図面番号 17/134 国見 52 (STA. 91 + 47.826) C-Bx-5.00-4.00-7.90 R69° 19' 一般図(6)につ きまして、図面番号 13/134 に記載され ている構造物掘削の数量と一致しま せん。不足している横断図がある と考えられますので、該当する測 点の横断図をご提示ください。	不足している横断図がありましたので 後日訂正いたします。なお、構 造物掘削の数量は、設計図 函渠 工(13/134) 国見 52 (STA. 91 + 47.826) C-Bx-5.00-4.00-7.90 R69° 19' 一般図(2)の数量表 に記載の値が正となります。
2	設計関係図書 設計図(擁壁工)図面番号 4/40 重力式擁壁一般図(4)3号重力式 擁壁本線につきまして、数量表 の構造物掘削普通部に記載の 数量は 88.6m <sup>3</sup> とありますが、 土工図から算出しますと 90.6m <sup>3</sup> となります。ご確認ください。	構造物掘削 普通部の数量につ いて、正しくは90.6m <sup>3</sup> とな ります。交付図書の一部に誤 りがありましたので後日訂正 いたします。
3	設計関係図書 数量明細表 P11 18-(3)簡易舗装工につ きまして、雑工の設計図 の中に簡易舗装工に関する 図面がございません。仕様 と施工場所をご教示くだ さい。	簡易舗装工の仕様は設計図 土工 (23/90) 標準横断面図(3)に 示す通り、施工場所は設計図 土工(7/90~10/90)平面図 (1)~(4)に示す「付替側道」 及び「管理用道路(C-1ランプ STA.2+80付近右側)」とな ります。図面における「管 理用道路(C-1ランプ STA.2+80 付近右側)」の表示漏れ、及 び簡易舗装工の図面が不足 しているため、後日訂正 いたします。
4	設計関係図書 数量明細表 P14 特-(9)撤去工につ きまして、雑工の設計図 の中に防護柵(Gr-C4E)に 関する詳細図がございま せん。仕様と施工場所 をご教示ください。	防護柵(Gr-C-4E)の仕様は防 護柵標準図集に示すとおり、 施工場所は設計図 雑工(2/26) 撤去工・構造物取壊し工平 面図(2)に示すとおりとな ります。

5	設計関係図書 設計図（土工）平面図（１）～（４） P(H)-1-φ0.40 につきまして、想定されている掘削深さをご教示願います。	掘削深さは、設計図（参考図）の排水系統図および用排水構造物標準設計図集により算出してください。
6	設計関係図書 特記仕様書 P31 用排水管「P (Vu)・φa」の詳細図をお示し願います。	不足している図面がありましたので後日訂正いたします。
7	設計関係図書 特記仕様書 P32 集水ます TypeE のうち「Dc-S-0.80-0.80-1.20(F)」が平面図（１）～（４）に掲載が無いと思われます。一方、平面図（２）、（３）に「Dc-S-0.80-0.80-1.20」が２箇所ございます。(F)の有無をご教示願います。	特記仕様書 27-11-2 集水ます（１）種別単価表の項目 Type E の設計図書に示す記号のうち「Dc-S-0.80-0.80-1.20(F)」について、正しくは「Dc-S-0.80-0.80-1.20」となります。交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。
8	設計関係図書 特記仕様書 P32 集水ます TypeL につきまして、平面図（１）～（４）に５箇所の掲載がございましたが、数量は６箇所となっております。掲載があったのは Dc-0.80-0.80-1.60 が２箇所、Dc-0.80-0.80-1.80 が２箇所、Dc-1.30-0.70-1.20 が１箇所の計５箇所です。残り１箇所の仕様と施工場所をご教示願います。	集水ます TypeL の施工箇所は、設計図 土工（7/90）～（10/90）平面図（１）～（４）に示すとおりとなります。なお、Dc-0.80-0.80-1.60 が３箇所、Dc-0.80-0.80-1.80 が２箇所、Dc-1.30-0.70-1.20 が１箇所の計６箇所となります。

9	<p>設計関係図書 設計図（詳細図） 集水ます詳細図（1） 数量表の「Dc<sup>^</sup>(G)-1.50-1.50-1.80(F)」 と「Dc<sup>^</sup>(G)-1.50-1.50-2.00(F)」の数量 につきまして、前者のほうが土量、コン クリート量等が多いですが、お間違い ないでしょうか。</p>	<p>設計図 詳細図（4/26）集水ます詳細図 (1)の数量表のうち、Dc<sup>^</sup>(G)-1.50-1.50- 1.80(F)は正しい数量となります。な お、Dc<sup>^</sup>(G)-1.50-1.50-2.00(F)と Dc<sup>^</sup>(G)-1.80-1.80-1.20(F)の数量につい て、正しくは以下のとおりとなります。</p> <table><tr><td colspan="2">Dc<sup>^</sup>(G)-1.50-1.50-2.00(F)</td></tr><tr><td>構造物掘削 普通部</td><td>19.34</td></tr><tr><td>構造物埋戻</td><td>10.98</td></tr><tr><td>コンクリート C1-1</td><td>3.26</td></tr><tr><td>型わく D</td><td>29.24</td></tr><tr><td>鉄筋 D16</td><td>6.2</td></tr><tr><td>基礎材 t=150</td><td>0.60</td></tr><tr><td>グレーチング蓋1500×1500</td><td>1</td></tr></table> <p>Dc<sup>^</sup>(G)-1.80-1.80-1.20(F)</p> <table><tr><td>構造物掘削 普通部</td><td>15.36</td></tr><tr><td>構造物埋戻</td><td>8.03</td></tr><tr><td>コンクリート C1-1</td><td>2.65</td></tr><tr><td>型わく D</td><td>21.60</td></tr><tr><td>鉄筋 D16</td><td>3.7</td></tr><tr><td>基礎材 t=150</td><td>0.79</td></tr><tr><td>グレーチング蓋1800×1800</td><td>1</td></tr></table> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので 後日訂正いたします。</p>	Dc <sup>^</sup> (G)-1.50-1.50-2.00(F)		構造物掘削 普通部	19.34	構造物埋戻	10.98	コンクリート C1-1	3.26	型わく D	29.24	鉄筋 D16	6.2	基礎材 t=150	0.60	グレーチング蓋1500×1500	1	構造物掘削 普通部	15.36	構造物埋戻	8.03	コンクリート C1-1	2.65	型わく D	21.60	鉄筋 D16	3.7	基礎材 t=150	0.79	グレーチング蓋1800×1800	1
Dc <sup>^</sup> (G)-1.50-1.50-2.00(F)																																
構造物掘削 普通部	19.34																															
構造物埋戻	10.98																															
コンクリート C1-1	3.26																															
型わく D	29.24																															
鉄筋 D16	6.2																															
基礎材 t=150	0.60																															
グレーチング蓋1500×1500	1																															
構造物掘削 普通部	15.36																															
構造物埋戻	8.03																															
コンクリート C1-1	2.65																															
型わく D	21.60																															
鉄筋 D16	3.7																															
基礎材 t=150	0.79																															
グレーチング蓋1800×1800	1																															
10	<p>設計関係図書 設計図（擁壁工）17/40、18/40 ①ランプ部の断面図に透水マット（B=400）の記載がございますが、10/40の断面図には透水マットがございません。透水マットの要否、及び必要な場合の設置延長をご教示願います。 ②透水マットに係る費用は、割掛け（水抜きパイプ）で見込むと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>設計図 擁壁工（17/40）重力式擁壁地盤改良工計画図（1）に記載のある透水マットは不要です。 正しくは、設計図 擁壁工（10/40）重力式擁壁一般図（10）の断面図を参照ください。 交付図書の一部に誤りがありましたので 後日訂正いたします。</p>																														

1 1	設計関係図書 設計図 (B ランプ橋) 設計図 (D ランプ橋) B : 5/53、21/53 D : 5/50、21/50 支承箱抜きに係る費用は、型枠工 C で見込むと考えてよろしいでしょうか。	割掛対象表の割掛項目「支承アンカーボルト箱抜費」に示す割掛先単価項目に計上ください。
1 2	設計関係図書 特記仕様書 P26～28 構造物掘削(特殊部)で発生するスクラップは、受注者にてスクラップ受入業者まで運搬し売却する想定でしょうか。それともご指定場所への搬出でしょうか。	場所の指定はございません。貴社の施工計画に基づきお考えください。
1 3	特記仕様書 27-27. 施工ヤード整備工 区分内容にヤードの原型復旧の記載がありませんが、上部工工事にて復旧するものと考えてよろしいのでしょうか。	本工事では施工ヤードの復旧は行いません。
1 4	特記仕様書 27-5. 盛土工 盛土工 Aの購入材は、クラッシャーラン(C-40)と考えてよろしいでしょうか。	盛土工Aの購入材の仕様は、土木工事共通仕様書 2-7-2を参照ください。
1 5	特記仕様書 7-1. 工事用地等の確保 6. 白石市大平中目字沢向10番地2他の備考に「家屋等」と記載がありますが、家屋等は解体済みで平地として用地が確保されていると考えてよろしいのでしょうか。	当該工事用地における家屋等については、特記仕様書に記載の使用可能期間までに家屋等は解体済みで平地として用地が確保されているとお考えください。
1 6	施工に関して 法面の樹木伐採は別途協議と考えてよろしいでしょうか。	特記仕様書 27-2 道路掘削 (2)施工 に記載のとおりとなります。
1 7	06-7_設計図(詳細図) 図面番号 3/26 に関して VS(S3)-0.60-0.40～0.90 の蓋の寸法が、コンクリート蓋 L=600、グレーチング蓋 L=594 となっておりますが、コンクリート蓋 L=500、グレーチング蓋 L=500 または L=1,000 ではないのでしょうか。特注品であれば、材料単価の明示をお願いいたします。	Ds-VS(S3)-0.60-0.40～0.90の蓋の寸法について、正しくはコンクリート蓋662×500、グレーチング蓋660×495となります。 交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。

18	<p>設計関係図書 06-4_設計図（擁壁工） 39 頁 特記仕様書表 27-10 に、「コンクリート基礎工 C」は基礎材なしとありますが、擁壁工設計図 39 ページのコンクリート基礎工の通り、「コンクリート基礎工 C」には基礎碎石があり、構造物掘削、埋戻しがないと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>設計図 擁壁工（39/40）コンクリートブロック積工 DランプA2の数量表に一部誤りがありましたので後日訂正いたします。「コンクリート基礎工C」は、基礎材、構造物掘削、埋戻し、ともになしとなります。</p>
19	<p>設計関係図書 特記仕様書 14 頁 特記仕様書 13-1 に 工事用道路の指定 がされています。客土運搬大型車等は、各工事出入口において 国道4号線から 右折搬入、右折搬出することは可能でしょうか。特記仕様書に記載はありませんが、左折にて進入、退出が条件でしょうか。ご教示ください。</p>	<p>各工事出入口において、国道4号からの右折進入及び右折退出はできません。 設計図 土工（3/90）工事用指定道路及び交通保安要員配置図（1）に示す土運搬・資機材運搬路を参照し左折進入及び左折退出で計画ください。</p>